

## 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

サルコペニアを有する胃癌患者に対する胃切除において術後合併症が予後に及ぼす影響

### 1. 研究の対象および研究対象期間

対象となる方：2003年1月から2019年12月までに胃癌に対して手術を受けられた方

研究対象期間：2003年1月から2019年12月まで

### 2. 研究目的・方法

胃癌は全世界の癌死亡の第2位の疾患です。腫瘍の完全切除が胃癌に対する唯一の根本治療であり、内視鏡的切除適応外の病変に対しては胃切除術の適応となることが本邦の胃癌治療ガイドラインに明記されています。

近年、筋肉量の低下で定義されるサルコペニアが胃癌をはじめとする悪性腫瘍の予後因子であることが報告されています。一方、悪性腫瘍に対する術後合併症も予後因子であることが報告されていますが、サルコペニアを有する胃癌の患者さんにおいて胃切除後の術後合併症が予後に及ぼす影響は明らかではありません。本研究では昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科において施行された胃癌に対する胃切除症例600例の臨床情報（背景、血液検査、生理検査、CT検査、内視鏡検査、病理組織学的検査等）を収集し、胃癌の患者さんを筋肉量の低下で定義されるサルコペニアの有無で分類し、術後合併症が術後長期成績に及ぼす影響を明らかにすることを目的としました。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2023年12月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、嗜好歴、化学療法歴）、周術期臨床検査（血液検査（血算、生化学、凝固、感染症）、心電図、呼吸機能、超音波検査、レントゲン検査、CT検査、内視鏡検査）、手術詳細（入院日、手術日、退院日、バイタル検査、実施術式、手術時間、麻酔時間、出血量、合併症の有無、再発日、死亡日）、切除標本の病理組織学的検査

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科

職名：助教

研究責任者：内田恒之

電話番号：045-971-1151